

## 第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（低学年の部）

タイトル：おまわりさんがいてくれてよかった

氏名：周藤 大士（ストウ タイシ）

小学校名：島根県 雲南市立西日登小学校 一年

ぼくが、こどもえんにいたころ、とてもこわいことがありました。それは、こどもえんのそとを、ふしんしゃがぶらぶらあるいていたことです。ふしんしゃは、くろいずぼんとくろいふくをきていました。ぼくは、ふしんしゃをみたのはそのときはじめてだったので、とってもこわかったです。

さいしょにみつけたのはたんになのせんせいでした。ぼくたちをすぐにひなんさせてくれました。まずゆうぎしつに、こどもえんのみんながあつまりました。まんなかにあつまって、せんせいがかぎとカーテンをしめてくれました。

でも、もしふしんしゃがちかづいてきたらとかんがえたらぶるぶるふるえそうになりました。とてもこわくなりました。ないてるこもいました。

五ふんぐらいたったらせんせいが、  
「おまわりさんがつかまえてくれたよ。」  
といました。

五ふんほどなのに、すごくながくかんじました。つかまってすごくほっとしました。

おまわりさんがあとでいろんなことをおしえてくれました。はんにんにおいかけられたらたすけてと大きなこえでいうことや、おかあさんとかにしらせるのがだいじなこと、あめでさそわれてもついていってはいけないといわれました。

ぼくは、おまわりさんがいてくれてほんとうによかったとおもいました。おまわりさんがぼくたちをたすけてくれて、うれしかったです。

いつも、ぼくたちをまもってくれるおまわりさん、ありがとう。これからもぼくたちをまもってね。

※防犯訓練の様子を描いたものです